



9月28日、三川鉱正門前で行われた9.28坑内火災抗議集会。久しぶりに「炭掘る仲間」の歌声がひびき渡り、心をゆすぶった。

9・28



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033番
編集兼
発行人 杉本 一男
半年間1,200円 送料共

坑内火災抗議集会ひろく

これからもねばり強く

反省の色なき資本に怒りが

九月二十八日、三池炭鉱は三川鉱正門前で「九・二八坑内火災抗議集会」を開き、会場の保安サボに抗議し、あの三川鉱大爆発の責任をかえりみず、同じ三川鉱で再び九・二八火災をひき起こした責任を追及、改めて命と暮らしを守る闘いをねばり強くすすめることを誓った。

各有団体代表が

暖いはげましを

集会にはいつものように、組合、実業家、関係者、労働者、家族、主婦会、原告団員が結集し、「その労働力こそ売るが、集めたばかりでなく、社共両党、命までも売った覚えはない」とこの代表、大牟田・荒尾両地帯の労働者を改めて確認し「命と暮らしを守る闘いは、いよいよこれからだ。おのずと集会のもつ意義の重さを、そのためにいっそう団結を固め参加者全員に胸に焼きつけた。事がはげまることを誓い合って終った。

期待集まる秋季闘争

退職手当増額など要求

今年の秋季闘争は、例年の退職手当など多項目の要求のほかに、時間短縮などの要求が加わります。これらの要求を実現するためには、現場の声を資本にたたきつけ、腰のすわった闘いを進めなければなりません。要求は次のよう

退職手当要求について

現行健保等級二十四級を二十八級に引き上げ、このほか自己都合退職条件の改善、特別加給の取

あります。

時間短縮要求について

年次有給休暇一日分を基礎日数に上積みすること。このほか現行特定休日の賃金を平均賃金にすること、月一回の週休二日制を実

これでよいのか賃金展開

会社がまたも強行実施

春闘での一方四四四ですが、賃金支払の中心になつていく賃金展開の中心には、自分たちの賃金がかわらない。賃金展開で実質的に上昇しない、などの不満が職場ではいっぱいです。少額の展開とはいえ、これをいかに適正に配分するかを真剣に考え、そして請負給のあり方について大胆にメスを入れなければ、わがやりの近代賃金形態にはなりません。会社強行ということになりましたが、現場ではさらに監視の目をつよめる必要があります。

明るい職場を

環境改善で

衛生週間前に

るだいや新聞

十月一日からスタートする、全国労働衛生週間運動を前に、会社は九月二十五日発行した社内報「くろだいや新聞」(第三五七三号)は、その一面トップの記事をもって「有害要因の排除を」として、同週間運動の趣旨と実施事項を明らかにした。とくに会社の「実施事項」とし

解説

じん肺患者賠償請求裁判へ

神奈川の山口さん

坑内火災は今から十四年前、あの三池炭鉱から四年足らず、昭和四十二年九月二十八日、それも大爆発と同じ三川鉱で起きただけに、これからは必ず支援しつづける「(真木)大牟田・荒尾両地帯代表」は、「災害は、明らかに合理化こそ原因だ。その証拠に、三池炭組が団結力を強めたとき、巨人を上まわらせた災害死者も激減した。職場で団結を固めよう」(百田社会党代表)、「ねばり強い三池の闘いに敬意を表する。その闘いあればこそ、災害に一定の歯どめをかけている。今資本の合理化は、大牟田市民を苦しめて、にしかねない勢いだ。団結を」(石橋共産党代表)と、各代表の暖いはげましが続いた。

明日へ向かって総行動を

9・15高齢者集会

十月十五日東京体育館で、「第一一回高齢者大会」が、約一万人の参加のもとに開かれた。毎年総評、中労連など三十四団体で結成している実行委員会が主催してきている集会で、「若者、子ども、孫たちのために、明日への明るい展望を切り拓(ひら)く国づくり」のための、行動を、最後に決意して幕を閉じた。

公判お知らせ
坑内火災裁判公判
十一月三日午後一時から、同裁判所。右裁判所。
三池大災害裁判公判
十一月二十日午後一時十分、多く参加しよう。ら、福岡地方裁判所。

世の衝撃もひととき大きかった。三池炭組は損害賠償請求裁判を起し、資本の災害責任を追及している。それでも、その後も会社側は反省の色なく、災害は相次ぎ、毎年五、六人の死者を出している。許されることではない。